



2024年6月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社アドベンチャー 上場取引所 東  
 コード番号 6030 URL https://jp.adventurekk.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 中村 俊一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中島 照 (TEL) 03-6277-0515  
 定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 2024年9月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	22,391	11.8	1,547	△46.6	1,440	△49.5	694	△62.0	750	△58.9	739	△59.9
2023年6月期	20,027	69.9	2,900	41.9	2,853	41.7	1,826	13.4	1,826	13.4	1,842	13.6

	基本的1株当たり当期利益	希薄化後1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分当期利益率	資産合計税引前利益率	売上高営業利益率
2024年6月期	円 銭 100.17	円 銭 97.92	% 6.7	% 5.4	% 6.9
2023年6月期	243.15	233.32	17.4	12.9	14.5

(参考) 持分法による投資損益 2024年6月期 一百万円 2023年6月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
2024年6月期	百万円 29,735	百万円 12,079	百万円 11,050	% 37.1	円 銭 1,486.40
2023年6月期	23,541	11,363	11,363	48.3	1,510.32

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2024年6月期	百万円 856	百万円 △295	百万円 2,382	百万円 17,007
2023年6月期	3,040	△895	△893	14,004

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 22.00	円 銭 22.00	百万円 165	% 9.0	% 1.6
2024年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00	148	20.0	1.3
2025年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 現時点では2025年6月期の期末配当予想額は未定です。

3. 2025年6月期の連結業績予想 (2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	当期利益
通期	23,400	4.5	2,100	35.7	2,000	38.8	1,200	72.7	1,300	73.2	円 銭 173.47
	~26,000	~16.1	~3,000	~93.9	~2,900	~101.3	~1,700	~144.6	~1,800	~139.8	~240.20

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

株式会社施工房、アヤベックス株式会社、ADVENTURE APAC PTE. LTD.、ADVENTURE GLOBAL TRAVEL, INC.、SILKWAY TRAVEL ASIA PTE. LTD.

新規 5社 (社名) 除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年6月期	7,978,900株	2023年6月期	7,524,100株
② 期末自己株式数	2024年6月期	544,274株	2023年6月期	243株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	7,493,883株	2023年6月期	7,513,303株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年6月期の個別業績 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	16,648	△6.5	1,814	△23.6	1,719	△26.8	923	△39.0
2023年6月期	17,814	68.7	2,376	19.9	2,350	25.4	1,514	△11.4

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期	123.24	120.47
2023年6月期	201.60	193.45

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2024年6月期	24,815	10,366	10,366	41.8	1,394.33	
2023年6月期	21,447	10,547	10,547	49.2	1,401.66	

(参考) 自己資本 2024年6月期 10,366百万円 2023年6月期 10,545百万円

(個別業績差異発生の原因)

個別決算において、関係会社貸倒引当金繰入額として166百万円を特別損失に計上いたしました。なお、当該損失については、個別決算において計上されるものであり、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績とは異なる場合がありますので、ご了承ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結持分変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループをとりまく経営環境につきましては、観光庁「宿泊旅行統計調査」(確定値)によりますと、2023年の延べ宿泊者数は、6億1,747万人泊で前年比37.1%増、うち日本人延べ宿泊者数が4億9,972万人泊で前年比15.2%増、外国人延べ宿泊者数が1億1,775万人泊で前年比613.5%増となっており、業界全体としてコロナ禍前の水準となりました。

このような事業環境のもと、当連結会計年度におきましては、収益は22,391,725千円(前年同期比11.8%増)、営業利益は1,547,395千円(前年同期比46.6%減)、税引前当期利益は1,440,890千円(前年同期比49.5%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は750,693千円(前年同期比58.9%減)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、従来の「コンシューマ事業」を「旅行事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

#### (旅行事業)

旅行事業につきましては、旅行需要の回復とそれに応じた広告宣伝費の増加により、当セグメントの収益は22,428,260千円(前年同期比12.5%増)、セグメント利益は1,583,930千円(前年同期比43.6%減)となりました。

#### (投資事業)

投資事業につきましては、投資先の業況を反映し、当セグメントの収益及び利益は△36,535千円(前年同期のセグメントの収益及び利益は、91,513千円)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の総資産は29,735,683千円となり、前連結会計年度末と比べ6,193,690千円の増加となりました。増加の主な要因は、現金及び現金同等物並びにのれんが増加したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末の総負債は17,655,685千円となり、前連結会計年度末と比べ5,477,147千円の増加となりました。増加の主な要因は、社債及び借入金が増加したことによるものであります。

#### (資本)

当連結会計年度末の資本は12,079,998千円となり、前連結会計年度末と比べ716,543千円の増加となりました。資本金765,102千円、資本剰余金751,272千円、利益剰余金585,168千円、非支配持分1,029,185千円の増加、自己株式2,467,848千円の減少によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末より3,002,897千円増加し、17,007,750千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローと要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金は、856,748千円（前連結会計年度は3,040,692千円）となりました。これは主に税引前当期利益1,440,890千円、法人所得税の支払額△856,956千円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金は、△295,231千円（前連結会計年度は△895,921千円）となりました。これは主に敷金及び保証金の回収による収入831,740千円、定期預金の純増減額254,038千円、子会社株式の取得による支出△800,346千円、敷金及び保証金の差入による支出△485,551千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金は、2,382,047千円（前連結会計年度は△893,040千円）となりました。これは主に長期借入れによる収入5,000,000千円、株式の発行による収入1,528,689千円、長期借入金の返済による支出△1,130,358千円、自己株式の取得による支出△2,480,026千円によるものであります。

### (4) 今後の見通し

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2024年6月期に取得した子会社が連結業績に貢献することが予想されるものの、為替相場や物価変動などの外的要因による影響を予想することが困難であるため、収益は234億円から260億円、営業利益は21億円から30億円、税引前利益は20億円から29億円、当期利益は12億円から17億円及び親会社の所有者に帰属する当期利益は13億円から18億円とレンジで公表致します。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、①のれんや無形固定資産を対象としたより厳密な効果測定による投資リターンの改善、②資本市場における財務諸表の国際的な比較可能性の向上、③将来的な海外展開を加速させるための経営管理基盤の確立等による企業価値向上を図るため、国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産</b>			
流動資産			
現金及び現金同等物		14,004,852	17,007,750
営業債権及びその他の債権		3,062,511	3,676,031
棚卸資産		480,675	263,745
営業投資有価証券		1,188,809	1,015,202
その他の金融資産		441,805	231,406
その他の流動資産		1,286,248	1,814,761
流動資産合計		20,464,902	24,008,897
非流動資産			
有形固定資産		123,769	410,003
使用権資産		731,444	847,081
のれん		612,172	2,986,066
無形資産		93,028	50,974
その他の金融資産		1,515,900	1,425,608
繰延税金資産		751	7,027
その他の非流動資産		23	23
非流動資産合計		3,077,090	5,726,786
資産合計		23,541,993	29,735,683

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,639,345	8,015,100
社債及び借入金	307,240	985,216
リース負債	249,339	321,942
引当金	—	781
未払法人所得税等	388,724	375,916
その他の流動負債	220,708	476,507
流動負債合計	8,805,357	10,175,465
非流動負債		
社債及び借入金	2,641,874	6,581,520
リース負債	458,218	525,329
退職給付に係る負債	24,575	27,498
繰延税金負債	184,300	177,897
その他の非流動負債	64,212	167,974
非流動負債合計	3,373,180	7,480,220
負債合計	12,178,537	17,655,685
資本		
資本金	3,307,675	4,072,778
資本剰余金	3,296,397	4,047,669
利益剰余金	4,744,007	5,329,176
自己株式	△1,952	△2,469,801
その他の資本の構成要素	17,327	70,990
親会社の所有者に帰属する持分合計	11,363,455	11,050,813
非支配持分	—	1,029,185
資本合計	11,363,455	12,079,998
負債及び資本合計	23,541,993	29,735,683

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
収益	20,027,736	22,391,725
売上原価	5,323,500	7,320,574
営業総利益	14,704,236	15,071,150
販売費及び一般管理費	11,825,170	13,517,092
その他の収益	21,222	77,845
その他の費用	—	84,508
営業利益	2,900,287	1,547,395
金融収益	25,686	31,376
金融費用	72,709	137,881
税引前当期利益	2,853,264	1,440,890
法人所得税費用	1,026,377	745,936
当期利益	1,826,886	694,954
以下に帰属する当期利益		
当期利益：親会社の所有者に帰属	1,826,886	750,693
当期利益：非支配持分に帰属	—	△55,739
合計	1,826,886	694,954
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	243.15	100.17
希薄化後1株当たり当期利益(円)	233.32	97.92



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期利益	1,826,886	694,954
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	15,784	44,489
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	15,784	44,489
その他の包括利益合計	15,784	44,489
当期包括利益	1,842,670	739,443
以下に帰属する当期包括利益		
当期包括利益：親会社の所有者に帰属	1,842,670	805,899
当期包括利益：非支配持分に帰属	—	△66,456
当期包括利益	1,842,670	739,443

## (3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
					在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計	
2022年7月1日残高	3,281,560	3,270,281	3,067,131	△1,284	—	1,593	1,593	9,619,282
当期利益	—	—	1,826,886	—	—	—	—	1,826,886
その他の包括利益	—	—	—	—	15,784	—	15,784	15,784
当期包括利益合計	—	—	1,826,886	—	15,784	—	15,784	1,842,670
剰余金の配当	—	—	△150,010	—	—	—	—	△150,010
新株の発行	26,115	26,115	—	—	—	△50	△50	52,180
自己株式の取得	—	—	—	△667	—	—	—	△667
所有者との取引額合計	26,115	26,115	△150,010	△667	—	△50	△50	△98,497
2023年6月30日残高	3,307,675	3,296,397	4,744,007	△1,952	15,784	1,543	17,327	11,363,455

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				
					在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計		
2023年7月1日残高	3,307,675	3,296,397	4,744,007	△1,952	15,784	1,543	17,327	—	11,363,455
当期利益	—	—	750,693	—	—	—	—	△55,739	694,954
その他の包括利益	—	—	—	—	55,206	—	55,206	△10,717	44,489
当期包括利益合計	—	—	750,693	—	55,206	—	55,206	△66,456	739,443
剰余金の配当	—	—	△165,524	—	—	—	—	—	△165,524
新株の発行	765,102	759,805	—	—	—	△1,516	△1,516	—	1,523,392
新株予約権の失効	—	27	—	—	—	△27	△27	—	—
自己株式の取得	—	△8,560	—	△2,467,848	—	—	—	—	△2,476,409
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	1,095,641	1,095,641
所有者との取引額合計	765,102	751,272	△165,524	△2,467,848	—	△1,543	△1,543	1,095,641	△22,900
2024年6月30日残高	4,072,778	4,047,669	5,329,176	△2,469,801	70,990	—	70,990	1,029,185	12,079,998

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	注記	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期利益		2,853,264	1,440,890
減価償却費及び償却費		310,990	406,635
減損損失		—	83,246
関係会社株式売却益		—	△36,113
金融収益及び金融費用		47,023	107,430
営業債権及びその他の債権の増減額		749,965	△360,704
棚卸資産の増減額		△121,514	46,871
営業投資有価証券の増減額		△91,513	36,535
営業債務及びその他の債務の増減額		897,180	△450,746
その他		50,194	543,886
小計		4,695,591	1,817,932
利息及び配当金の受取額		25,686	28,454
利息の支払額		△72,709	△133,005
法人所得税の還付額		—	323
法人所得税の支払額		△1,607,875	△856,956
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,040,692	856,748
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の純増減額		△271,172	254,038
有形固定資産の取得による支出		△82,541	△87,451
無形資産の取得による支出		△1,700	—
敷金及び保証金の差入による支出		△466,541	△485,551
敷金及び保証金の回収による収入		120,066	831,740
子会社株式の取得による支出		—	△800,346
子会社株式の売却による収入		—	452
事業譲受による支出		△190,000	—
その他		△4,032	△8,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		△895,921	△295,231
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額		—	△36,675
長期借入金の返済による支出		△579,635	△1,130,358
長期借入れによる収入		—	5,000,000
リース負債の返済による支出		△214,908	△318,994
株式の発行による収入		52,180	1,528,689
自己株式の取得による支出		—	△2,480,026
配当金の支払額		△150,010	△165,524
その他		△667	△15,063
財務活動によるキャッシュ・フロー		△893,040	2,382,047
現金及び現金同等物の増減額		1,251,729	2,943,563
現金及び現金同等物の期首残高		12,754,783	14,004,852
現金及び現金同等物に係る換算差額		△1,659	59,334
現金及び現金同等物の期末残高		14,004,852	17,007,750

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

法人所得税

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIAS第12号の改定「単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金」を適用しております。

なお、この適用に伴う前連結会計年度及び当連結会計年度の連結財務諸表への重要な影響はありません。

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

## (2) 各報告セグメントの事業内容

## ① 旅行事業

個人や企業に対する商品の販売やサービスの提供

## ② 投資事業

将来性があり、キャピタルリターンを期待できるビジネスや企業への投資

## 2 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	旅行事業	投資事業	計		
収益					
外部顧客への収益	19,936,223	91,513	20,027,736	—	20,027,736
セグメント間の内部収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,936,223	91,513	20,027,736	—	20,027,736
セグメント利益	2,808,774	91,513	2,900,287	—	2,900,287
金融収益					25,686
金融費用					72,709
税引前利益					2,853,264
セグメント資産	22,353,183	1,188,809	23,541,993	—	23,541,993
その他の項目					
減価償却費	310,990	—	310,990	—	310,990
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	旅行事業	投資事業	計		
収益					
外部顧客への収益	22,428,260	△36,535	22,391,725	—	22,391,725
セグメント間の内部収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,428,260	△36,535	22,391,725	—	22,391,725
セグメント利益	1,583,930	△36,535	1,547,395	—	1,547,395
金融収益					31,376
金融費用					137,881
税引前利益					1,440,890
セグメント資産	28,720,481	1,015,202	29,735,683	—	29,735,683
その他の項目					
減価償却費	406,635	—	406,635	—	406,635
減損損失	83,246	—	83,246	—	83,246

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- 3 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)  
該当事項はありません。

(報告セグメントの名称変更)

当連結会計年度より、従来の「コンシューマ事業」を「旅行事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、これに伴い、前連結会計年度のセグメント情報も変更後の名称で表示しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,510.32円	1,486.40円
基本的1株当たり当期利益	243.15円	100.17円
希薄化後1株当たり当期利益	233.32円	97.92円

(注) 基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
基本的1株当たり当期利益		
親会社の所有者に帰属する当期利益(千円)	1,826,886	750,693
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期利益(千円)	1,826,886	750,693
普通株式の期中平均株式数(株)	7,513,303	7,493,883
希薄化後1株当たり当期利益		
当期利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	316,691	172,254
新株予約権(株)	316,691	172,254

## (重要な後発事象)

(取得による企業結合)HELLO1010 SDN. BHD. 及びUR COMMUNICATIONS PTE LTD.

当社は、2024年5月13日開催の取締役会の決議に基づき、当社の連結子会社であるAdventure APAC Pte. Ltd.を増資し、当該子会社がHELLO1010 SDN. BHD. (以下、「HELLO」といいます。) 及びUR COMMUNICATIONS PTE LTD. (以下、「UR」といいます。) の2社の株式を取得したことにより孫会社化いたしました。

## (1) 企業結合の概要

## ①被取得企業の名称及びその事業の内容

(a)被取得企業の名称 HELLO1010 SDN. BHD.

事業の内容 SIMカード/eSIM事業

(b)被取得企業の名称 UR COMMUNICATIONS PTE LTD.

事業の内容 WiFi/SIMカード/eSIM事業

## ②企業結合を行った主な理由

当社グループは、OTA（オンライン・トラベル・エージェント）を主力事業として総合旅行予約サイト「skyticket」等を中心に旅行事業を運営しており、今後の戦略として、国内旅行事業を引き続き強化した上で、さらにアジア及びグローバル領域に進出していく方針を定めております。

一方、HELLOは、2017年にマレーシアにて設立以来、SIMカード/eSIM事業をメインに事業展開しており、これまで主にマレーシア国内にて海外旅行者向けのSIMカード/eSIMの販売を行っております。

また、URは2013年にシンガポールで設立し、通信事業をメインに展開しており、ポケットWiFiのレンタル及び販売、SIMカードやeSIMの販売を行っております。

このたび、当社グループのアジア圏における旅行事業を更に加速するために、本株式の取得及び孫会社化の決議に至りました。本株式取得に当たっては、APACにSGD 8百万を増資し、その後HELLO及びURの株式を取得しました。

## ③企業結合日

2024年7月1日

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

## ⑤結合後企業の名称

変更ありません。

## ⑥取得した議決権付資本持分の割合

(a)HELLO1010 SDN. BHD. 100%

(b)UR COMMUNICATIONS PTE LTD. 100%

## ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

## ⑧主要な取得関連費用の内容及び金額

(a)HELLO1010 SDN. BHD. アドバイザリーに対する報酬・手数料等（概算）43百万円

(b)UR COMMUNICATIONS PTE LTD. アドバイザリーに対する報酬・手数料等（概算）40百万円

## (2) 取得対価及びその内訳

(a)HELL01010 SDN. BHD.

現金	MYR10,000,000 (342百万円)
取得対価合計	MYR10,000,000 (342百万円)

( )内の日本円は2024年7月1日現在のMYR1=34.20円で換算しております。

(b)UR COMMUNICATIONS PTE LTD.

現金	SGD3,000,000 (356百万円)
取得対価合計	SGD3,000,000 (356百万円)

( )内の日本円は2024年7月1日現在のSGD1=118.98円で換算しております。

## (3) 取得資産及び引受負債の公正価値及びのれん

現時点では確定しておりません。

## (取得による企業結合)株式会社Quesqu

当社は、2024年5月13日開催の取締役会の決議に基づき、株式会社Quesqu（以下「Quesqu」といいます。）の全株式を取得することにより子会社化いたしました。

なお、本株式取得に伴い、Quesquの完全子会社である株式会社LALALA Plus（以下、「LALALA」といいます。）は、当社の孫会社となりました。

## (1) 企業結合の概要

## ①被取得企業の名称及びその事業の内容

- (a)被取得企業の名称 株式会社Quesqu  
事業の内容 子会社管理等
- (b)被取得企業の名称 株式会社LALALA Plus  
事業の内容 留学サポート事業

## ②企業結合を行った主な理由

当社は、OTA（オンライン・トラベル・エージェント）として総合旅行予約サイト「skyticket」等を中心に事業を運営しております。今後の戦略として、国内旅行事業を引き続き強化した上で、さらに東南アジア及びグローバル領域に進出していく方針を定めており、新たに留学サービスをリリースし、海外から日本、日本から海外へと行き来する学生のための予約サービスを開始しております。

一方、Quesquは、LALALAの株式を2018年にM&Aにより取得し、LALALAのサポートを行うホールディング会社であり、LALALAにおいてオーストラリア、カナダを中心に各国への正規・語学留学サービスを提供しております。

LALALAの既存取引先及び当社のオンライン予約サービスで得た広告及び集客のノウハウ等を応用することで、双方にとって大きな相乗効果を生み出し、今後の当社グループの留学事業に注力していくために本株式を取得しました。

## ③企業結合日

2024年7月1日

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

## ⑤結合後企業の名称

変更ありません。



## ⑥取得した議決権付資本持分の割合

- (a) 株式会社Quesqu 100%
- (b) 株式会社LALALA Plus 100%

## ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

## ⑧主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等（概算）32百万円

## (2) 取得対価及びその内訳

現金	482百万円
取得対価合計	482百万円

## (3) 取得資産及び引受負債の公正価値及びのれん

現時点では確定しておりません。